いのち支える広島プラン（広島県自殺対策推進計画（第２次））の素案に係る

県民意見（パブリックコメント）と対応・県の考え方について

１　意見の件数

　　２０件（２人）

２　県民意見（パブリックコメント）の内容と対応・県の考え方について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 意見の内容 | 対応・県の考え方 | 該当頁 |
| ○自殺の予防に重点をおいたさまざまなメニューを提示したうえで、「自殺は追い込まれた末の死」という表現が過去のものとなるような野心的な目標を設定すること。 | ○さまざまな事業を展開し，生きる支援が日本一充実している県を目指してまいります。 | ２２頁６（１） |
| ○精神科医師・保健師・産業医など医療や公衆衛生　に携わる者に対する自殺の研修を充実させる必要　がある。 | ○医療関係者や公衆衛生関係者に対する研修のより一層の充実を図ってまいります。 | ３０頁３１頁 |
| ○「ストレスチェック制度」を一般労働者にも普及させていくこと。 | ○産業保健スタッフと連携し，普及を図ってまいります。 | ３２頁（３）ア |
| ○「健康原因」とされるもの，「経済原因」「生活原因」とされるものも，「職場環境・働く環境によるもの」などのストレスが多重多層に重なり惹起されたものと考えられる。そのため，自殺防止のためには，職場でのセクハラ・パワハラの防止に関わる人，労働問題の専門家をもう少し活用すべきではないか。 | ○職場でのセクハラ・パワハラの防止に関わる人や労働問題の専門家などの産業保健スタッフとの連携を図りつつ，取組を進めてまいります。 | ３２頁（３）ア |
| ○職場におけるこころの健康は，こころの健康に関　する研修会を随時開催する必要がある。 | ○職場でのこころの健康について，事業所と連携しつつ研修会を実施してまいります。 | ３２頁（３）ア |
| ○障害のある労働者を雇用する職場では，「ストレスチェック」を最大限に活用していただきたい。 | ○職場のストレスチェックが十分に活用されるよう取り組んでまいります。 | ３２頁（３）ア |
| ○精神疾患の早期発見のため，労働者に関わるすべ　ての関係者が，こころの健康保持増進について，情報及び認識を共有する機会を設けることが必要である。 | ○産業保健スタッフと連携し，こころの健康保持増進についての情報・認識を共有する機会を設けてまいります。 | ３２頁（３）ア |
| ○疾病の治療及び予防に携わる労働者や精神科医師・保健師・産業医が連携して「ストレスチェック」を徹底させること。 | ○関係機関・団体と連携し，ストレスチェックを徹底してまいります。 | ３２頁（３）ア４５頁 |
| ○保健医療と産業界との情報の交流機会を確保する必要がある。 | ○産業保健スタッフとの情報の交流機会を確保してまいります。 | ３２頁（３）ア |
| ○障害特性に応じた必要な援助を行えるよう、地域　保健（医療）と産業保健の分野が緊密に連携すること。 | ○地域保健スタッフと産業保健スタッフが連携して支援が行えるよう取り組んでまいります。 | ３２頁（３）ア |
| ○障害者と健常者が共生できる職場環境づくりが必要である。 | ○事業所や産業保健スタッフと連携することにより，活躍の場の確保を図ってまいります。 | ３２頁（３）ア |
| ○障害の有無及び程度にかかわらず，地域社会にお　いて活躍できる場を確保すること。 |
| ○誰もが地域社会において孤立することのないような活躍の場を整備すること。 |
| ○若年層から中高年層は、就労機会の拡充と並行し　て精神的な健康不安を訴えたときの相談窓口の整備が必要である。 | ○こころの健康について相談できる体制の整備に取り組んでまいります。 | ３２頁（３）ィ３３頁（４）ア |
| ○必要なときに何時でも気軽にこころの健康について相談できる体制の整備が必要である。 |
| ○ストレスを早期に発見し，うつ病をはじめとする精神疾患の発生を予防していくこと。 | ○医療の機会へ繋いでいくため精神科医療体制の充実を図ってまいります。 | ３８頁３９頁 |
| ○自殺を引き起こす諸要因を早期に発見し，医療（治療）の機会に繋げていくこと。 |
| ○患者のニーズを把握し，それを医療・福祉・雇用　へとつなげる地域支援体制を構築しなくてはなら　ない。 | ○関係機関・団体が，連携・協働して地域で支援する体制を整備してまいります。 | ４５頁４６頁 |
| ○「自尊感情の形成」と「心のリスクマネジメント」という重要な視点を踏まえた，現実的な施策を実施していただきたい。 | ○御意見をいただいた視点も踏まえ，計画の各取組を実施してまいります。 | その他（全体） |
| ○「自殺は防ぐことができる」というのは真実であり，私たちが生活を営むにあたって必要な社会的基盤を整備し，社会で活躍する機会を増やすことによって，自殺者の減少を図っていただきたい。 | ○生きる支援が日本一充実している県を目指し，プランに掲げる具体的な取組を実施することによって，自殺で亡くなる人の減少を図ってまいります。 | その他（全体） |

　貴重な御意見，御提言をいただきましてありがとうございます。

　いただいた御意見，御提言は，計画策定の参考にさせていただくとともに，今後のプランによる取り組みの中においても生かしてまいります。